



群青の追憶

海底に眠る大東亜戦争の戦争遺産を追う

2018 6/15 [金]～9/30 [日] (年中無休) 午前9時～午後4時30分

●会場=靖國神社 遊就館内 特設展示場

●みたままつり期間中 (7/13 [金]～16 [月]) は午前9時～午後9時まで開館

●6/25 [月]～27 [水] は臨時休館

●観覧には遊就館にご入場頂く必要があります。

大人=1000円

大学生=500円 (短期大学生・専門学校生などを含む)

中学・高校生=300円 (7・8月夏休み期間中は無料)

小学生=無料

●靖國神社崇敬奉賛会、遊就館友の会会員は無料となります。



追風主砲とダイバー／チューク (トラック諸島)



桑港丸の甲板上的九五式軽戦車／チューク (トラック諸島)



神國丸甲板に置かれた当時の食器や靴底
チューク (トラック諸島)



瀬戸内海に眠る戦艦・陸奥で見つけた防毒面
柱島沖 (日本)



平安丸の機関室内部に残る電球
チューク (トラック諸島)



平安丸客室付近から出てきた当時の新聞
チューク (トラック諸島)



富士川丸の船首とダイバー／チューク (トラック諸島)



零式艦上戦闘機二一型とダイバー／ラバウル (パプアニューギニア)

靖國神社 遊就館 特別企画 戸村裕行 水中写真展

群青の追憶

海底に眠る大東亜戦争の戦争遺産を追う

大東亜戦争を起因とし、現在も海底に眠る日本の船、
航空機、潜水艦に実際に潜り、
撮影をし続けた一人の写真家の記録。

2018 6/15 [金] ~ 9/30 [日] (年中無休)

午前9時~午後4時30分 (入館は閉館の30分前まで)

●会場=靖國神社 遊就館内 特設展示場

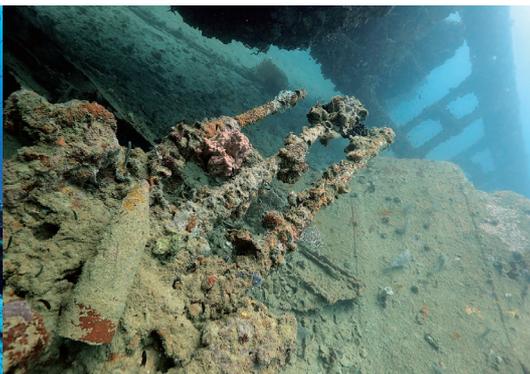
●みたままつり期間中 (7/13 [金]~16 [月]) は
午前9時~午後9時まで開館

●6/25 [月]~27 [水] は臨時休館

【展示エリア】インドネシア (マノクワリ、ゴロンタロ他)、北マリアナ諸島 (サイパン)、グアム、ソロモン諸島 (ガダルカナル島・ツラギ島・ニュージョージア島)、日本 (沖縄・柱島沖)、パプアニューギニア (ラバウル)、パラオ、フィリピン (ブसानガ島・コロロン)、ミクロネシア・チューク (トラック諸島) (あいうえお順)



富士川丸船首にあるテレグラフ
チューク (トラック諸島)

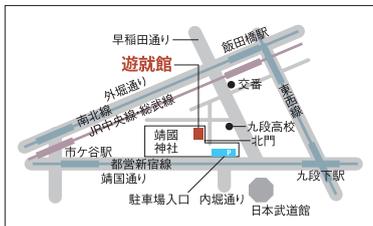


秋津洲のクレーンを望む三連装機銃と砲弾
コロン (フィリピン)



海底に鎮座する二式飛行艇のプロペラ
サイパン

靖國神社 遊就館



東京都千代田区九段北3-1-1
TEL.03-3261-8326 (代表)
yusyukan.yasukuni.jp

- JR>>中央線/総武線各駅停車「飯田橋駅 (西口)」、「市ヶ谷駅」より徒歩10分
- 地下鉄>>○東京メトロ東西線/半蔵門線/都営新宿線「九段下」駅より徒歩8分 ○東京メトロ南北線/有楽町線「市ヶ谷」駅、「飯田橋」駅より徒歩8分
- バス>>九段下~高田馬場系統「九段上停留所」より徒歩1分



水中写真家 戸村裕行

世界の海中を巡り、大型海洋生物からマクロの生物まで、様々な海中景観を撮影し続けている水中写真家。生物の躍動感や海の色彩を意識した作品は、ウェブやダイビング誌、カメラ誌などを中心に発表されている。また、一つのライフワークとして大東亜戦争を起因とする海底に眠る事となった日本の艦船や航空機などの撮影を世界各地で続け、現在までにその数は100程になる。その取材内容はミリタリー総合誌、月刊「丸」にて毎月連載を続けている。

●オフィシャルサイト>>www.hiroyuki-tomura.com